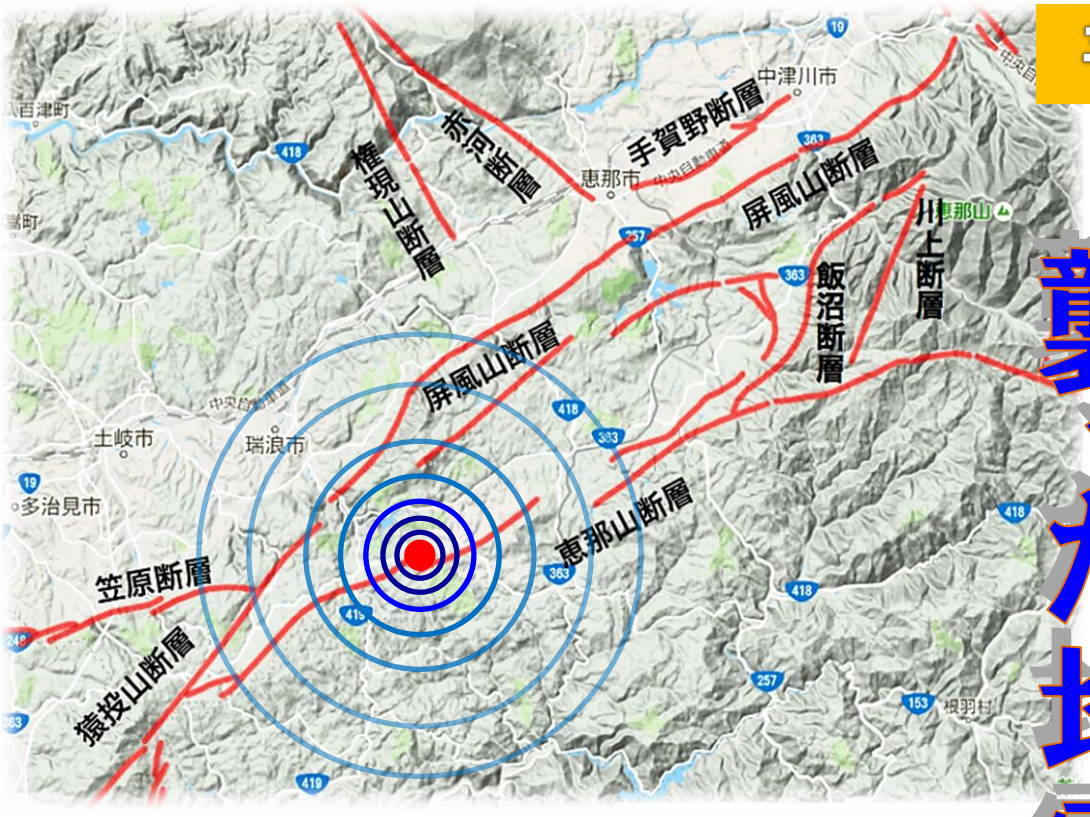
平成 28 年度

市民学術講演会

瑞浪を襲った地震、襲う地震



私たちが生活する「瑞浪」
その周辺には大地震の震源となる活断層が密集しています。
この地で発生した地震とその被害、地震活動に対する理解と
いつかは起こるであろう「その日」（地震災害）に対する備えについて
皆さんと共に考えてみたいと思います。

日 時 **11 月 16 日(水) 19 時～21 時**

会 場 **陶公民館　多目的ホール**

講 師 公益財団法人 地震予知総合研究振興会 東濃地震科学研究所
副首席主任研究員
木股 文昭 先生（元名古屋大学教授）

≪活断層が密集している東濃地域でより安全・安心に暮らす術を考えましょう！≫
活断層については科学的によく分かっていませんが、東濃で想定される地震は、「内陸直下型地震」です。
最も注意すべき点は次の３点で、そのための備えを事前にしておくことが大切です。
①家や家財の下敷きにならないこと
②下敷きになった人の救助
③山崩れなどによる孤立への備え
いずれにしても、高齢化と家屋の老朽化に対する最善の方法は、「共助」の精神をみんなで持てるようにすることではないでしょうか。

主催 （公財）地震予知総合研究振興会 東濃地震科学研究所

後援 瑞浪市／陶町連合区会／陶町明日に向って街づくり推進協議会

問合せ先 東濃地震科学研究所☎67-3105　瑞浪市生活安全課☎68-9736